

STの方向け☆発達協会主催 2018年度「秋のセミナー」「指導力・支援力向上セミナー」開催のご案内

お申し込みお待ちしております！

発達協会 HP : <http://www.hattatsu.or.jp/>

10月27日(土)

秋4 脳の働きをふまえた発達支援

生活や学習場面での支援を事例とともに学びます。

気持ちの切り替えが苦手であったり、注意散漫だったりする一方、興味のあることには人一倍の集中力を見せる等、注意の働きに偏りのある子どもがいます。注意は、言語や記憶等と同じ、脳の働きのひとつです。このセミナーでは、総論として脳の働きをふまえた支援の枠組み、実践につなげる手がかりとして注意に偏りがある子どもへの生活・行動、学習面へのアプローチを学びます。子どもに合った支援を行うことで、子どもの意欲も高まります。

1. 脳の働きをふまえた指導の枠組み[認知神経心理学の立場から]
宇野宏幸(兵庫教育大学大学院)
2. 注意の働きに偏りがある子への配慮と指導①[生活・行動面を中心に]
今井正司(名古屋学芸大学)
3. 注意の働きに偏りがある子への配慮と指導②[学習面を中心に]
今井正司(名古屋学芸大学)

秋5 発達障害がある子とのコミュニケーションを確かにする支援技術

状況の理解や相手に伝えることの苦手さに、どう対応すべきでしょうか。

発達障害のある子は多少の差はあれ、コミュニケーションに困難さを抱えています。ただ本人が自覚していることは多くないので、意図せず起こるトラブルに被害的になったり、自信を失ったりするケースもあります。子どもの特性をふまえ、環境調整やコミュニケーション・スキルを支援することが求められます。彼等の友人関係や人間関係への理解も含め、臨床経験豊富な講師陣が事例とともにお伝えします。

1. 発達障害がある子のコミュニケーション特性とは
井澤信三(兵庫教育大学大学院)
2. コミュニケーション支援の実際
井澤信三(兵庫教育大学大学院)
3. 発達障害のある子の友人関係・人間関係
村上由美(ボイスマネージ)

☆その他にも様々なテーマで講座を行っております。詳しくはHPをご覧ください。

★お申し込み方法

《申し込み》お電話・FAX・発達協会ホームページから、お申し込みいただけます。

- ・電話 : 03-3903-3800
- ・Fax : 03-3903-3836
- ・HP : <http://www.hattatsu.or.jp/>

《ご注意》・同じ日程で開催されるセミナーを申し込むことはできません。

- ・申し込みの殺到が予想されるセミナーもございます。お早めにお申し込み下さい。

《時間》各日 10:15~16:20

《定員》各 250名(定員になり次第、随時締め切ります)

《会場》東京ファッションタウン（TFT）ビル東館 9階研修室

東京都江東区有明3-6-11

《受講料》各9,050円（税込）（正会員、賛助会員は各8,220円（税込））